

グリーン経営認証取得の成果の紹介

認証取得後 1 年目の定期審査時のアンケート項目「特に成果のあった取組」について寄せられた皆様のご紹介をします。
(2023.6～2023.8)

【バス事業】

内容
<p>・事務所内の電気使用量が対前年比で▲9%と減少した。 (実施要項)</p> <p>冷暖房の温度設定管理徹底 照明のこまめな消灯、便器蓋を使用後に閉めることの呼びかけ徹底 パソコンのこまめな消灯、冷蔵庫の設定を低くし、電気ポットも未使用時はコンセントを抜く</p>
<p>・グリーン経営取得により、社員の環境問題に対する意識が向上しています。 ・アイドリングストップ等エコドライブ活動を推進し、全社員が一丸となって燃費向上に取り組んでいます。 またゴミの排出量が前年と比較し、減少しました。</p>
<p>・当営業所では各車両に担当制を設け、車両ごとの燃費比較表を毎月提出しており、各々のエコドライブの成果が見えるようにし、燃料節約に関するモチベーション向上に繋がる取り組みを行っている。</p>
<p>・グリーン経営認証後、各運転士ともエコドライブについての意識付けがおおよそ出来ており、環境に配慮しながら安全運行を心掛けられるという姿勢は、グリーン経営認証を取得したことによる成果だと思えます。 また、デジタコを全車両に設置し、運転技術が可視化したことで安全運転ならびにエコ運転技術の向上に繋がっております。 ・周囲に対して配慮ができる、そういった姿勢が安全運転につながっていくということを、全従業員に理解させて、この先も推進していきたいと思えます。</p>
<p>・毎月の車両ごとの燃費を把握することは、燃料削減に向けての啓発手段として有効であり、また、燃費に大きく変動があった車輛について追跡調査を行うことにより、原因（車輛状態、気象状況、運行形態等）が把握でき更なる削減に向けての対策を講じるのに役立ちます。</p>
<p>・グリーン経営認証を取得するため、法定点検以外の任意点検を開始したため、車両事故の減少、また不具合の早期発見による修繕費の削減を図ることができました。</p>
<p>・環境関連法規制に対する社内認識の向上 関連法について社内周知ができた。</p> <p>・年間燃費実績集計による燃費の実績と目標の見える化 車両別、車格別、営業所別の月間年間の燃費実績と目標が明確となり、社内で共有できた。</p> <p>・エコドライブの効果的な推進 特にアイドリングストップの励行に効果があった。</p> <p>・事務所における環境保全の推進 エコマーク製品の優先購入等、意識の変化があった。</p> <p>・車両故障：3件減少</p>
<p>・JT Bを利用した会社の中でグリーン経営を取得していることが条件の仕事があり受注できた。 ・デジタルタコグラフで乗務員の速度、エンジン回転、アイドリング時間、ブレーキなどを把握し、そのデータをもとに、乗務員ランキングを作成し表彰を行っている。その影響で5年前から事故件数は減少している。</p>

【タクシー事業】

内容
<ul style="list-style-type: none">・代替時にはハイブリット車を導入・ハイブリット車導入による燃費の向上・環境配慮車の増車による社員の環境保全意識の向上
<ul style="list-style-type: none">・燃費向上への取り組み・職場、乗務員へのエコドライブの意識向上
車両故障の減少
<ul style="list-style-type: none">・タイヤの点検数の増加→燃費向上、車両故障の減少、交通事故件数の減少 すり減ったタイヤでの営業よりも溝のあるタイヤを使用する事による乗務員の士気向上
<ul style="list-style-type: none">・急発進、急停車と急のつくものが減ったと思います。・出庫点呼時に急発進、急停車についての話を頻繁に発信している。
<ul style="list-style-type: none">・地球環境を意識して こまめなアイドリングストップを心がけCO2の排出の削減を乗務員全員で実行した結果、燃費の向上も実現化した。・車両整備の適正化により 車両故障が減少するとともに 乗務員の意識が向上した事により重大な車両事故がなくなった。・常務員の考えも少しずつ変化が見られ営業中の運行も、優しい運転となり重大事故のなくなり自損事故も前年度に対して2割近く減少傾向になりました。
<ul style="list-style-type: none">・昨年度より、会社全体でグリーン経営を認証してきたことを行政等から認めて頂き、数多くの表彰を頂きました。これは、乗務員を始め、事務員、管理部、役員を含め全ての社員が、何らかの形でグリーン経営に関する業務に携わるように仕組みづくりをしているからです。日々の業務から生まれてくるエコドライブ運転行動の結果を集計をするもの、それを日々行う乗務員教育に公表し分析するもの、評価の高い乗務員への表彰制度など会社全体でグリーン経営を進めて参ってきたことを、「当たり前」として位置づけてきたことだと思っています。 また、我々の営業地域である「長野県飯田市」は環境モデル都市であり、地域行政が環境対策に具体的な数値や行動を示しており、我々公共交通機関としての社会的責任を果たすためにグリーン経営を推進してことを今度は地域のお住まいの方々の生活に深く関わる行動をする事を、昨年度から推進して参りました。地域交通の源と呼ばれる「デマンド交通」を100%再生可能エネルギーを使用した「ゼロエミッションタクシー」で運行を開始しました。また、電気自動車の給電システムを活用し、災害対策として電力の供給を行う協定を締結するなど、地域貢献の行うことを推進して参りました。昨年度より、弊社では自社で行ってきたグリーン経営をより多くの地域の方々の生活に関わっていくことに成果がありました。

【港湾運送業】

内容
<ul style="list-style-type: none">・月一度の全体清掃を行うことにより、整理整頓が進んで職場が綺麗に保たれている。
<ul style="list-style-type: none">・支店内の廃棄物の種類や廃棄方法などが整理されました。

【トラック運送事業】

内容
<ul style="list-style-type: none">・ドライバー自身が毎月燃費目標を設定、給油ごとに燃費計算をしています。月末には積載量別ごとに全員の燃費を掲示し、他車との燃費の比較をしながら自分自身の燃費がどうなのか、自覚し反省や燃費の向上に努めています。また、燃費の向上に努めることにより、環境に配慮した安全運転に繋がっています。
<ul style="list-style-type: none">・燃費の向上を含め弊社独自でドライバーさんに対し、年間表彰制度を設けている。
<ul style="list-style-type: none">・服装・身なりから気遣うことから始め、Gマークとともに、グリーン認証取得会社ドライバーとして意識向上しています。・車両管理が行き届き、オイル関係で量が足りない・不足がなくなり、ドライバーの車両に対する気遣いが多くなった。不要な資材を使わなくなった。・日々の点検において早めに気づき、故障・修理が少なくなった。
<ul style="list-style-type: none">・事務所内で冷暖房の目安である省エネ温度に対応、衣服で調整し業務を行うようになった。・社内全体に環境配慮の重要性が浸透し、ゴミの削減と節電を意識するようになった。・ムダなアイドリングの減少と優しい運転効果が表れ、燃費が向上した。
<ul style="list-style-type: none">・弊社の取組の中で一番効果があったものに関しては燃費向上で速度を抑制し運行することでドライバー個人の意識が変わり余裕を持った運転が出来、車両故障、経済運転、荷主からの品質向上への取組が取れたことが特に成果があったことです。
<ul style="list-style-type: none">・燃費統計を取り始めてから、昨年度は4トン車・10トン車ともに目標を102%達成することが出来ました。・月末に各車両の燃費を各ドライバーに出してもらい確認してもらうことと、車両を担当制にしたことがドライバーへの意識向上につながり燃費向上へとつながったと思います。
<ul style="list-style-type: none">・燃料高騰が続いている中、各乗務員がエコドライブの意識浸透により、経費削減に繋がってきていると感じます。・グリーン経営活動に取り組むことによって燃費について意識を持ってもらえるようになった。
<ul style="list-style-type: none">・燃費管理及び燃費目標を定めることにより、各乗務員の燃費に対しての意識向上。・速度やエンジン回転数を意識する事により、交通事故のリスクは軽減していると思われます。・荷主より、環境系のアンケートを求められる事があり、グリーン経営認証取得を報告しております。
<ul style="list-style-type: none">・廃梱包資材の分別を徹底し、経費削減につながっている。・ドライバーが燃費の向上するためにアイドリングの抑制やエンジンオイル交換等車両メンテナンスに対して意識が高くなっている。・社内で燃費競争を、賞品・賞金を提示して行ったときには面白いくらい燃費が向上したのを覚えています。・点検・整備についてトラックディーラーに委託依頼し、講習を行った事で社員の理解が深まった。
<ul style="list-style-type: none">・燃費の向上・燃費の向上が年々良くなっているかと思えます。車両性能が良くなってきているのもあるかと思えますが、少々古い車両でも成果が出ているので燃料代も抑えられるかと思えます。・燃費目標に向けて、エコドライブに力を入れるようになり、それに伴いデジタコ走行得点にも数値が反映されるようになりました。社員一丸となり、取り組んでいるデジタコ走行得点も数年前では考えられないような高得点を取る従業員が増えております。また、点検の際忘れがちで抜けることもあったフィルター交換などはあらかじめ表にして事務所で管理することにより、点検忘れを防ぎ結果としてエコに繋がっていると感じます。
<ul style="list-style-type: none">・全車両の平均燃費が向上・燃費の向上と、エコドライブの意識向上には一役買っていると思えます。・弊社の場合、デジタコを活用して全ドライバーの平均的な燃費向上になっていると思えます。
<ul style="list-style-type: none">・毎月の安全会議において燃費のランキングを表彰することによって士気が高まった。・デジタコの日報より安全と経済の点数を確認して、社内で表彰を行っている。それにより、エコドライブの意識がかわった。・こまめなアイドリングストップの定着や急発進、急ブレーキの減少により、燃費の向上や事故の減少が見られました。・オイル交換の時期を明確にしたことで、交換し忘れがなくなり、DPFシステムの故障が減少しました。・大きな事故が減ったことは言うまでもなく、軽度の物損事故も減少しました。
<ul style="list-style-type: none">・掲示物の活用や、車両毎の燃費を朝礼で発表することにより、個々の士気が高まった。・デジタコの安全運転分析、経済運転分析の評価点数に基づいて、ドライバーの月間表彰を行っているため、エコドライブに対するドライバーの意識は向上していると思えます。・デジタルタコグラフを導入したことにより、燃費については各車両、良好な状態を維持している。

内容

・車両の点検・整備

車両の点検・整備を行うにあたりその基準を明確にしかつ、定常化することで、車両故障はもとより、故障の予知が可能になった。

・走行距離ならびに燃料の使用量の把握

走行距離ならびに燃料の使用量を管理することで、その実績と今後の目標数値が明確化された。

・自社でオイル交換することで、実際のオイル交換時期を意識してもらえるようになった。

・ドライブレコーダーを導入したことにより、燃費が向上した。

また、ドライバーも燃費を意識した丁寧な運転を心がけるようになり、安全運転の意識の高まりへと繋がっている。

・燃費の向上に成果がありました。早めのシフトアップや、エンジブレーキを多様しているのが分かります。先月と比較し燃費向上者上位3名に表彰しています。

・グリーン経営認証取得にあたり、所内会議および研修を実施することによって事務員は勿論のこと、乗務員への環境保全・エコドライブに関する基本的な知識を深めることができ、燃費向上や無事故無違反といった、環境面・経済面・安全面に対するの改善がなされた。

・デジタコの最高速度を設定し、超えた場合は減点となり、報奨金が減額になるルールを作ったことにより運転に対する集中力が増えました。

・車両の機器の向上もありますが燃費も良くなっています。

・安全衛生教育に於いて、燃費向上を議題とし、毎月の燃費・報告を各自に提出をする。

・新型車の計画的導入代替え

・定期整備計画の見直し（一覧表に実施日チェックを設け、入庫遅れ、入庫忘れを防ぐ）

・3ヶ月に1回のエアフィルターの清掃により、エアコンの故障を減らすことができた。

・月1回の黒煙の点検により、故障する前に異常にきがつくことができた。

・弊社では法定整備（3ヶ月）車検の他に毎月1ヶ月点検を行い車両トラブル軽減に努めている。

1ヶ月点検の主な内容

黒煙が出ていないかチャート紙を使い確認。

エアコンのガス漏れがないか確認。

タイヤの空気圧や溝の量、ナットの緩みがないか安全性を確認。

各車両の燃費の調査で極端に燃費が悪くなっていないか確認しデータを取りまとめている。

・毎月、ドライバーの運行実績一覧表を掲示して、燃費、ふんわりアクセル、アイドリング時間を「見える化」することにより、ドライバー同士が切磋琢磨することで職場モラルや士気の向上を図ることが出来ました。また安全運転分析で警告書が出力された場合は今後の対策も記入して安全運行の徹底をはかりました。

・グリーン経営認証10年継続のゴールドシールをトラックに貼ることにより、お客様からの評価も向上しています。

・トラック協会が開催するいろいろな安全講習にドライバーに積極的に参加してもらうことにより安全意識が高まりました。

・事業所の環境に対する活動がどの程度実施できているか把握できずにいる状態だったので、燃費の見直しなどができて良い機会となりました。

・オイルエレメントなどの管理が厳格になった。

・エコドライブ運転の実践と社内表彰制度により、取り組みに対する意識の向上。

・やさしい運転により、事故件数の減少。

・取引上の実績が前年度より上がった。またエコドライブの指導で車両事故の前年比より件数が減少した。燃費向上に関し、今一度目標に向け指導・取り組みを強化していきます。

・燃料の価格上昇もありますがエコドライブ効果で燃費向上→経費削減

・デジタコ、ドラレコ搭載により、セーフティドライブを心掛けるドライバーが増えました。

・車両の負担を減らし、車両事故を防ぐという意識も向上していると思います。

・車両を大切にするという意識が向上しつつあります。

・ドライバーの燃費向上への意識変化有

・車両の交換部品や不具合発見が早く修理対応等がスムーズになった。

・事業車両の管理がしやすくなった。

・毎年、期間限定した燃費向上コンテストを実施しており、燃費に対する意識向上に寄与していると思います。そして、低燃費を意識した走行を行うことで、交通事故や車両故障の減少につながっていると考えています。

・前年同時期の燃費と比較して、すこしでも向上していた月数をカウントしてその数に応じた商品を毎年進呈して10年以上が経過し各ドライバーが燃費を向上させる努力がよく見えます。

・毎年、結果を集計して数値で確認できる表も作成しているので意識も高まっているようです。

・乗務員に日常点検の大切さを強く発信しております。これにより車両点検異常に対して敏感になってきています。

・異常のある車両に乗り続けることにより燃費等も悪くなりエコでなくなってしまうという事が乗務員に意識付けられました。

内容
<ul style="list-style-type: none"> ・「グリーン経営認証」により、燃費向上、事故率の減少が成果としてあがる。 ・地球温暖化の問題などは、ドライバー一人一人が年々、暑くなっていることに一番気づいており、研修内容に取り込むと真剣に話を聞き、エコドライブに取り組む姿勢が変わった。 ・引き続き、環境や運送業界の情報を取り入れてグリーン経営に取り組んでいきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・燃費の向上については社内表彰制度との相乗効果でアイドリング減少など、乗務員が意識すると共に、管理者が当月の具体的な数的目標を告知することでセンター全体の達成感が生まれた。
<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブにより車間距離が取れたため、フロントガラスの飛び石による割れ損傷が減った。タイヤのエアチェックにより走行中のタイヤバーストが減った。
<ul style="list-style-type: none"> ・運行に支障が出るような修理期間を要する車輛事故の件数が減少しましたが、その要因については明確な要因は特定できませんが、日々の点検の継続結果が重大な故障要因の減少につながったとも考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタコ運転評価で法定速度-5km、急発進、急制動、アイドリングでの違反がない様に走行し、毎日乗務後点呼にてその日の結果を報告し指導を継続して指導し続けた結果、ほとんどの乗務員が100点を取るレベルを維持できています。表彰制度も加え今では年間デジタコ速度超過者は2022年は3名、3件でした。2023年は0継続中です。
<ul style="list-style-type: none"> ・成果なのか分かりかねますが、色々なデータ管理を行う事により、車両状態の把握が出来た為、スムーズな配車出来る様になった。 ・故障件数が減った事と、認証取得に係わるデータ管理処理による取り組みにおいて、少しずつ運行管理者の意識が向上していると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度の安全衛生会議を行っていますが、グリーン経営関連の議題を毎回一項目必ず取り入れております。エコドライブ・日常点検の重要項目、その他条例等の勉強を行う事によって安全面だけでなく、環境面に対する意識の向上につながっています。その為、車両不具合が発生した際の報告はすぐに入り、整備等の対応は迅速に行える体制になりました。
<ul style="list-style-type: none"> ・日々ルーチンの空瓶固縛時、以前まではストレッチフィルムを使用していましたが、ビニール紐に切り替えラップ使用料を抑制していくことができました。
<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みに対して運転者に朝礼やドライバーミーティング等など利用して法令の遵守や運転マナー、さらには技術の向上について教育してきた成果がみられた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの捨て場にユニバーサルデザインを採用して、回収の際の明確な基準を視覚的に明解にした。結果、分別回収が促進し資源ごみとして回収できるものが増大した。
<ul style="list-style-type: none"> ・燃費の向上について 燃料代が高くなったこともあるが、無駄なアイドリングを減らしたり、タイヤの摩耗が少ない運転を意識するドライバーが増えたと感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ推進責任者に任命している事務員が、車両の管理を積極的に行い、担当車輛以外の車輛も管理してくれており点検・交換の遅れが少なくなった。
<p>エコドライブの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃費記録表をもとに燃費目標を設定し、燃費を向上させるとともに環境保全に貢献できた。
<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブについて、一人一人が意識するようになった。
<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン経営認証を受けることにより、乗務員のエコドライブへの関心が高まり、意識向上につながった。 <p>また交通事故もなくなり、非常に高い効果を得ている。</p>
<ol style="list-style-type: none"> ① 車両の始業点検の徹底により、故障が早めにわかりコスト削減に繋がっている ② 整備管理者の組織を構築して、社員に対しての指導及び故障内容の把握を指示している。 ③ 毎月の点検・車検をカレンダーに明記し、社員に見える化で対応がしやすくなりました。
<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素の削減率を毎月提出することになっており、それに役立った。

【倉庫業】

内容
・LED工事の施工により使用電気量の軽減と倉庫内光量増による作業性向上
・廃棄の分別する意識が出来て良かったです。
・エネルギー使用状況を明確にする事で削減に対する意識の向上が見受けられる。
・廃棄物の発生量を把握する事で、抑制及びリサイクルに対する認識が以前より高まっていると感じる。
・各事業所員が省エネ設備や環境に対する勉強会等を実施しており、人材育成や従業員への知識向上にも繋がっていると考えます。
・小集団活動にて、グリーン経営について勉強会を行い、意識を向上させることができた。
・廃棄物の分別から、資源ゴミへの意識が高まっている。
また、不要照明の消灯も浸透し、電気使用量の削減に繋がっている。
・日々の業務の中で環境保全・リサイクルへの意識が高まっていると感じる。
・審査の度に各書類を準備することで、営業所の職員も事務局も書類管理や各数値の改善等に目が向くようになってきていると思います。
・エネルギー使用・産廃の分析により改善が図られている
・お客様から信頼を得られている
・環境保全活動の取り組み状況を把握することができた。
・エネルギーの使用量を数値化することで省エネに対する意識が高まった。
・廃棄物の発生量を意識するようになり、少量化、リサイクルへの関心度が高まった。
・環境計画で今後の目標を立てることで設備の改善、補修が確立され意識が向上している。
・環境に関わる法規制や行政指導での教育が、適正な処理で行動されている。
・業務の効率化で、ムダをなくす取り組みが向上している。（消灯、搬送機の効率向上、扉の開閉、作業効率）
・各関係法令が社員、協力会社に周知されている。
・倉庫内の照明を蛍光灯からLEDに変更、電気使用量が減少した。
・電気・燃料使用量原単位の目標及び実績を毎期記帳して可視化することにより、現在の取り組み状況や過去との比較を容易に行えるようになった。
・電気使用量を原単位で毎月表示し、前年同月や同年前月と比較できるようにしたことにより、電気の使用量の削減に対する意識の高揚が図れました。
・環境計画で今後の目標を立てることで設備の改善、補修が確立され意識が向上している。
・環境に関わる法規制や行政指導での教育が、適正な処理で周知されている。
・業務の効率化で、無駄をなくす取り組みの意識が向上している。（消灯、搬送機の効率向上、扉の開閉、作業効率）
・各関係法令が社員、協力会社に周知されている。